

学びふれあい 心豊かに

# 生涯学習

お知らせ

## 令和元年度 仙北市文化祭

仙北市文化祭の田沢湖・西木地区は次の日程で開催されます。各文化祭では多数の作品展示や催しが行われます。ご家族、ご近所お誘い合わせのうえ、ご来場ください。お待ちしております。(詳しい内容は、前号(10月1日号)をご覧ください。)

### 田沢湖地区

●日時／10月26日(土)9時～17時  
27日(日)9時～15時30分  
●場所／生保内市民体育館  
●問合せ／田沢湖公民館



### 西木地区

●日時／11月3日(日)9時～15時  
●場所／西木温泉ふれあいプラザクリオン2階ホール・隣接の体育館  
●問合せ／西木公民館

## 生涯学習活動紹介

みんな元気に参加

### 豊 齢学園

豊齢学園では、9月10日、由利本荘市のハーブワールドAKITAを見学しました。施設内にはラベンダーを中心に、夏から秋にかけての様々な花が多数咲き誇り、参加者の皆さんは、それぞれの花畑で時折足を止めながら、広い施設内をゆつくりと歩きました。



ぶどうが旬を迎えていました。

## 公民館講座受講者募集

仙北市民を対象とした次の公民館講座の受講者を募集します。受講を希望される方は各講座の申込期間の平日9時から17時まで、各公民館の窓口または電話でお申し込みください。  
※「豆腐おやき作り教室」は角館公民館のみ受付となります。

### 毎日の健康へつなぐ

## 太極拳ゆったり 体操教室

太極拳には身体機能を回復し、健康寿命を延ばす効果があるといわれています。中でも、手軽に始められるこの「太極拳ゆったり体操」は、ちょっとした時間を利用して簡単にできる体操です。お気軽にご参加ください。

- 日時／11月2日・9日・16日(毎週土曜日・全3回) 10時～11時30分
- 場所／田沢湖総合開発センター
- 講師／佐藤智恵子氏(太極拳ゆったり体操エリアパートナー)
- 服装／運動のできる服装、運動靴
- 持ち物／タオル、飲み物
- 受講料／無料
- 定員／15人(定員になり次第締切)
- 申込期間／10月17日(木)～29日(火)
- 問合せ／田沢湖公民館

## ヘルシーお菓子

## 豆腐おやき作り教室

身体にやさしく、カロリーも低い人気の豆腐を使ったおやき作りに挑戦してみませんか。食べておいしい、作って楽しい教室です。お菓子作りが初めての方でも大歓迎です。

- 日時／11月19日(火)・20日(水) 10時～12時頃
- ※2日間同じ内容の講座になりますので、どちらか都合のよい日をお申し込みください。
- 場所／旧石黒(恵)家
- 講師／浅利久美子氏
- 持ち物／エプロン、三角巾、筆記用具
- 受講料／500円(材料代)
- メニュー／豆腐おやき、ほか1品
- 定員／各日7人(定員になり次第締切)
- 申込開始／10月16日(水)
- 申込・問合せ／角館公民館



※画像はイメージです。

# またたうら

心豊かな教育文化のまち 《仙北市教育委員会だより》 第96号

## 中川小学校 地域との深い絆「子ども三省まつり」

9月19日、中川小学校で「子ども三省まつり」が行われ、力強い台詞の劇やきれいな歌声、切れ味のいい元氣いっぱいのダンスが披露されました。

6年生の劇「144年目の中川小学校へ」では、たくさんの思い出の中から「友だちと協力することをなべっこや保呂羽山、修学旅行などで学んだ。6年間をとても短く感じた(佐々木太さん)」「中川小学校に入学することができてうれしかった。特にニコニコ米販売では一生懸命やればみんなが笑顔になってくれるということを学んだ(戸澤真穂さん)」「角館小学校との合同練習でも、中川ドリーマーズで学んだ「最後まで諦めないでやり遂げる」ことを大切に練習してきた。この経験を将来の夢につなげたい(小林竜さん)」「僕が絵を好きになったきっかけは、3年生の頃、自分が描いた絵を友だちに誉められて嬉しかったから。僕が中川小学校で学んだことは、自分を他人に認められた時のうれしさ



6年の劇、入学式の思い出の場面です。

や楽しさです(戸澤清志郎さん)と、強い思いが堂々と語られました。6年生4人は三省まつりに向けて「最高の笑顔を地域いっばいに届けたい。いつもお手伝いをたくさんしてもらっている地域の皆さんに感謝の気持ちを伝えたい。全校のみんなの楽しそうな笑顔で地域に元気を届けたい。民謡や劇で感謝の気持ちを伝えたい」と、気持ちを話してくれました。その通り、地域への温かい思いの伝わる発表になりました。

## 椛木内小学校

### 絆を深める秋田の行事「なべっこ」

9月20日のさわやかな秋晴れのもと、椛木内小学校で「なべっこ」が行われました。今回作る鍋は「秋の味覚」を感じられること。「サツマイモが入った豚汁」「マイタケが入った豚汁」など各グループで考えた鍋は、どれもおいしそうです。全校を6グループに分けて、それぞれで鍋作りがスタートしました。1年生から6年生までが、役割を分担しながら作ります。煙に涙しながら、薪に火をつけようと頑張る3年生。1年生は焚き付けに必要な新聞紙を持っていきます。5、6年生はさすがに慣れたもので、てきぱきと下級生に指示を出し、自分たちは具材を切るなど段取りよく作業を進めています。

作り始めてから1時間ほどで、各グループの鍋が完成しました。そして早速「いただきます!!」「うめえ」と歓声が上がりました。あまりのおいしさにその後は黙々と食べる子どもたち。あっといふ間に鍋は空になりました。6年生の浅利柚稀さんは、「みんなで協力したからおいしい鍋になった。野菜もちゃんと切れていてよかった」。1年生の門脇絢音さんは、「兄さん、姉さんが頑張ってくれたので、おいしかった。私も4年生になったら頑張りたい」と話してくれました。子どもたち同士の絆を深め、「食欲の秋」を満喫した一日でした。



青空のもと、みんなで食べる鍋は最高!!

## さくら交流会

### 笑顔の花咲く

9月4日に、市内小・中学校の特別支援学級に在籍する子どもたちが集まり、さくら交流会が行われました。会場は横手市の「秋田ふるさと村」です。活動に先立ち、生保内小学校の加藤勝則校長先生から、「今日はいっばい土産話を持って帰ることができるよう頑張ってください」という激励を受けました。最初の活動は七宝焼、杉つちわ、土鈴、ジェルクヤンドル、樺細工、皿の給付けから一つを選んで行う体験活動です。思いおもいの色や形を選んで一生懸命制作に取り組んでいました。「上手だね」「すごいね」と声をかけられると満面の笑みを見せる子どもたちがとてもかわいかったです。

お昼はレストランで十文字フーメンや横手やきそばに舌鼓を打ち、食べ終わった頃に、ふいに「当たったよ!」という声。なんと、食事には当たりがついており、当たった子どもたちは横手やきそばセットを手に入れたのでした。午後はワンダーキャッスル探検です。この頃になるとみんな打ち解けて、トリックアートやボールプールで大盛り上がりでした。交流会終了後は「楽しい一日で友だちがたくさんできた」「先輩が優しくかった」などの感想が聞かれました。土産話もたくさんできたようでした。



自分で皿に絵付けができます。とっても上手に描けました。